

イカナゴ類



地方名

ちりめん(体長 20~30mm の当歳魚)、こうなご(体長 30mm 以上の当歳魚)、おおなご、めろうど(1 歳以上)

生態

- ①寿命：5 年以上
- ②成熟：オス、メス共に 2 歳（体長 16cm）以上
- ③産卵期：1 月～4 月
- ④産卵場：水深 50m 付近の砂礫質の海底
- ⑤分布：沖縄を除く日本各地
- ⑥生態：主に昼は遊泳し、夜間は砂の中に潜る。
7 月～10 月に夏眠する。食性は端脚類、
橈脚類、オキアミ類等の動物プランクトン。

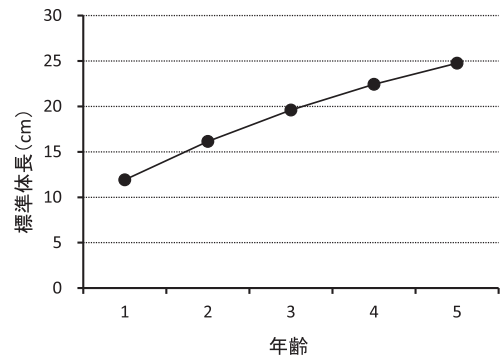


図 青森県におけるイカナゴ類の成長

出典：伊藤（2007）H17 年度青水総研セ事業報告. 30-51.

主な漁業

定置網、光力利用敷網で漁獲。陸奥湾と太平洋で主漁期は 4 月～6 月。当歳魚を漁獲。

漁獲の動向と水準

漁獲量は、1979 年の 1,606 トンを最後に、1980 年以降 1,000 トン以下の状況が続いたが、1995 年からは変動幅は大きいものの 1,000 トンを越えるまで回復した。しかし近年は大きく減少し、2022 年の漁獲量は 18.1 トンであった。2022 年の漁獲水準は、漁獲量の最高値と最低値との間を 3 等分し、上から高位、中位、低位とすると、低位であった。

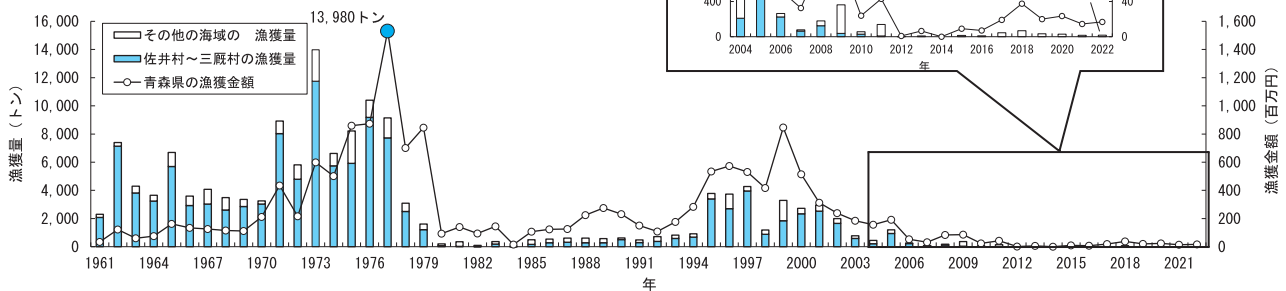


図 青森県におけるイカナゴ類の漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

- 青森県イカナゴ資源回復計画（三厩漁協～蓬田村漁協、脇野沢村漁協、佐井村漁協、白糠漁協、泊漁協 2007 年 3 月）
- ・漁期の短縮や操業統数の制限により、漁獲努力量を削減し、産卵親魚を保護する。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・2013 年から、三厩漁協～奥戸漁協までの陸奥湾湾口・湾内全域において、光力利用敷網漁業の操業自粛と、小型定置漁業によるイカナゴ類水揚げ禁止措置を開始し、2022 年も継続実施。